

奈良まほろば館

nara mahoroba

2023年(令和5年) 2月

発行所/奈良まほろば館 〒105-0004 東京都港区新橋1-8-4 SMBC新橋ビル 1階・2階

ショップ情報

【お知らせ】2月4日よりCafe&Barは、お客様により親しみを感じていただけるよう、“Cafe & Bar まほろば”となります。これからも変わらぬご愛顧を賜りますようお願いいたします。

毎年、東大寺二月堂で行われるお水取りに先駆けて、展示や写真集を通じてお水取りの紹介をします。東大寺グッズや、この時期にしか味わえない練切菓子の南無観椿を販売いたしますので是非お越しください。



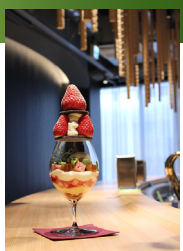
レストラン情報

立春。旧暦では新しい年の始まりを意味しました。この時期は邪気祓い行事が行われます。おなじみの豆まきで、鬼を追い払う豆は穀霊が宿るといわれる大豆、『魔滅』です。

奈良県山添村特産の『まめくら大豆』は香り良く、しっかりとした旨味と甘味が美味しい素材。また、寒さを増して美味しさを増す『下北春まな』は下北山村の自家野菜として育てられてきた濃い旨味が特徴の青菜で、塩漬けにした葉でご飯を包んだめはり寿司が有名です。下北山村には、改心して修験道の開祖『役行者』の従者となり、斧を持って役行者の進む道を切り開いた『前鬼』が住み続けたというお話があります。邪気を払う山添村のまめくら大豆と鬼にまつわる下北山村の下北春まな。『鬼は外、福は内』ではなく、鬼も福も奈良の美味しいものを全て体に取り込んで、すぐそこにある春を感じていただきます。

デザートでは厳選された古都華を使った『奈良県プレミアムセレクト古都華パフェ』を2月12日までバルエリアでご用意。販売数限定のため、事前のご予約をお勧めします。

なら瑠璃絵など、行事満載の2月の奈良。レストランTOKiで、料理とデザートの美味しさ、ストーリーとビジュアルで“奈良旅”をお楽しみ下さい。



物販イベント

●「伝えたい 奈良のこだわり」フェア

2月6日(月)～3月5日(日)

東京でまだまだ知られていない逸品を求めて、パイヤーが奈良県内各地を探し求めてくまなく回り、ついに秀逸のものに巡り会えました。原材料や製法にこだわり、食べる人のことを考えて作り出された、パイヤー厳選、こだわりの逸品です。

そんなこだわりの詰まった商品を期間限定で販売しますので、この機会に奈良の食の魅力に触れてみてください。



●奈良のいちおし逸品販売会

～バレンタイン2023～

2月10日(金)～2月12日(日)

最近のバレンタインでは、「日頃の感謝を伝えたい」また「自分」へのねぎらうために楽しんでいる方が増えています。特に長引くコロナ禍で買い物や外食が非日常になり、せっかく贈り物をするなら良いものをと、より「上質」なものを求める方が増えており、今回の「奈良のいちおし逸品販売会～バレンタイン2023～」では、贈り主・受け手ともに特別感を得られる「made in 奈良の至高の逸品」を揃えました。

日頃の感謝を伝える
イベントとして

奈良のくすり

【講座・体験イベントは2階イベントルームAで開催！】

～関連商品販売会、ワークショップ及び講演会～

奈良は、古くは推古天皇の時代に薬猟(くすりがり)が行われ、多くの薬用植物を産する地です。この奈良の地で、現在、薬用植物の生産から漢方関連商品製造販売を推進する漢方のメッカ推進プロジェクトが進められています。今回の「奈良のくすり展」は、漢方のメッカ・奈良で生まれた関連商品販売会やPRを行います。併せて、奈良のくすりをより身近に感じ、その理解を深めてもらうことを目的として、ワークショップや講演会を実施します。



【物販】2月3日(金)～2月5日(日) ※最終日は17時まで

【講座】「奈良のくすりの歴史を紐解く」

2月4日(土) 11:00～12:00

「奈良のくすり」は、悠久の歴史があり、そのはじまりは西暦 611 年の推古天皇の薬猟(くすりがり)とされています。その後、唐招提寺を創建したことで名高い鑑真和上の関連や江戸時代の享保年間、徳川吉宗の活躍に至るまで数多くの歴史があります。

この奈良のくすりの歴史について、この機会に学んでみませんか。

講師：薬事研究センター 総括研究員 西原 正和 氏

定員：36名(先着順) 参加費：無料

【体験】「にほひ袋・入浴剤づくり」

2月4日(土) 14:00～17:00、5日(日) 13:00～16:00

講師：奈良県 福祉医療部 医療政策局 薬務課職員

定員：なし(申し込み不要・材料が無くなり次第終了)

※混雑した場合は整理券を配布します。

参加費：無料

大和地蔵十福&宿フェア

【展示は2階イベントルームAで開催！】

【展示】2月23日(木・祝)～3月5日(日)

奈良県内の魅力ある地蔵菩薩を安置する十カ寺の地蔵尊を巡拝することで福德が授かる「大和地蔵十福」。地蔵十福とは、地蔵本願経や延命地蔵経で説かれており、十カ寺の地蔵尊を巡拝・満願すれば、「女人泰産(健康で聡明な子どもの安産が叶います)」、「身根具足(健全な心と身体を授けてくださいます)」など、十の福が授かります。

本イベントでは、十カ寺のすばらしい仏様とゆつたり巡礼していただくための奈良県内の旅館・ホテル情報を展示等で紹介します。

また、2月23日、3月4日、3月5日に講座も実施します。

※2月23日の講座については、裏面をご覧ください。



体験イベント

●奈良の醤油や祭り「Myしょうゆづくりセミナー」

2月26日(日) 13:30～15:00

醤油業界の全国と奈良県の状況、「古代ひしお」から見える発酵の歴史と醤油が作られるまでの工程を説明いたします。また、My醤油造りを通して醤油麹の実物に触れ、ご自宅で諸味発酵管理を体験していただくことで、醤油醸造の魅力をご紹介します。

※本職の醤油屋のサポートとレクチャーでどなたでも醤油造りができます。

※麹造りなど作業が難しい部分は事前に準備いたします。醤油の発酵熟成をご自宅で見守ってください。

講師：奈良県醤油工業協同組合

定員：30名 参加費：3000円 ※追加は2500円/1本

※申込期限：2023年2月5日(日)



去年の様子

イベントに関するお問い合わせは、

奈良まほろば館まで ☎03-5568-7081

※イベントの詳細は、奈良まほろば館のホームページで随時案内いたします。

※新型コロナウイルス感染症に伴い、内容が変更・中止になることがあります。

※各展示の最終日は閉館時間前に終了することがあります。ご了承願います。

裏面も
ご覧ください

2023年2月の講演紹介

月(曜)	時間	講演名	講演内容	講師	定員(名)	参加費(円)	問い合わせ先
2月10日(金)	14:00~15:30	ホトケ女子と聞く、大安寺特別講演 第1回 大安寺の仏像の魅力	全国的に見ても貴重な、奈良時代の木彫群を有する大安寺。本展担当の増田政史研究員にお越しいただき、大安寺の仏像の魅力や展覧会の見どころなどを伺います。 仏像が好きすぎて奈良に移住したホトケ女子は、大安寺の仏像に何を感じるのか?参加者の皆様と一緒に考えていきます。	東京国立博物館 研究員 増田 政史氏 合同会社 代表 / ホトケ女子 安達 えみ氏	50	1000 ※1	大安寺 ※3
2月11日(土)	第1部 11:00~12:30 第2部 14:00~15:30	飛鳥・藤原の世界遺産登録を目指して 明日香村文化財連続講座 ~世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原」の魅力と普遍的価値~	「日本人の心のふるさと」ともいわれる明日香村は、古代国家「日本」誕生の地であり、美しい景観に抱かれていまなお地下に眠る遺跡が古代の息吹を伝えていきます。私たちは、これらの遺跡群を世界に発信すべく、「飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群」として世界文化遺産登録を目指しています。 世界遺産とはなにか、その仕組みの解説や近隣の世界遺産の紹介を交えながら、「飛鳥・藤原」の持つ価値と魅力に迫ります。	明日香村教育委員会文化財課 課長 小池 香津江氏	各部 50	無料	
2月12日(日)	11:00~12:30	意外と知らない東大寺	世界遺産「東大寺」は、修学旅行生から外国人まで多くの参拝者に大人気ですが、実は、大仏殿は三代目、大仏さまの台座は奈良時代、お身体は中世、頭部は江戸時代に造られたもの。色と質感の違いがはっきりと分かります。 これだけは知っておきたい東大寺の歴史、仏像や建物、おすすめの拝観コースなど、バーチャルガイドでご紹介します。意外と知らない東大寺を再発見しましょう。	奈良まほろばソムリエの会 会員 Nara観光コンシェルジュ 山崎 愛子氏	50	500	奈良まほろば館
	14:00~15:30	春日大社の歩き方	世界遺産「春日大社」は、今から約1300年前、奈良時代に創建されました。神域として守られてきた世界遺産「春日山原始林」の中に鎮座します。清々しい空気で満ちた境内は、3000基もの燈籠が立ち並び、神様のお使いとされる鹿がのんびりと歩いています。 これだけは知っておきたい春日大社の歴史、神鹿とされる鹿、燈籠の見方、おすすめの参拝ルートなど、その魅力をバーチャルガイドでご紹介します。		50	500	
2月15日(水)	19:00~21:00	お写経教室	奈良の法相宗大本山薬師寺から僧侶をお招きしお写経を行います。この教室ではお写経を行うだけでなく、僧侶による法話もごさいます。 完成したお写経は、薬師寺の納経蔵に納められ永代供養されます。 ※お写経は般若心経又は父母恩重経、写仏をお選びいただけます。 ※道具はお貸しいたします。	薬師寺 録事 村上 定運 師	18	3,000	
2月17日(金)	14:00~15:30	ホトケ女子と聞く、大安寺特別講演 第2回 大安寺の歴史	聖徳太子ゆかりの熊襲精舎から始まり、「大寺(天皇立寺院)」として飛鳥・奈良と共に歩んできた大安寺。空海や最澄、更には海外からの留学僧まで在籍した巨大寺院がたどってきた歴史とは? 古代の大安寺に思いを馳せ、今の大安寺にもつながる歴史の数々をお客様、そしてホトケ女子と共に掘り上げていきます。	大安寺 貴主 河野 良文 師 合同会社 代表 / ホトケ女子 安達 えみ氏	50	1000 ※1	大安寺 ※3
2月19日(日)	11:00~12:30	インド仏跡巡礼 ~仏教発祥の地を訪ねて	仏教はインドで創始され、日本に伝えられました。 インドには仏教発祥に関わる遺跡「仏跡」が数多く残されています。3年前、奈良の古刹・喜光寺が主催した仏跡巡礼に参加した記録をもとに、「仏跡」の現状をご紹介します。喜光寺・山田法胤住職のお墨付です。今はなかなか訪ねられないインドの「仏跡」に合わせて、垣間見た町や村の風景もお楽しみに。	奈良まほろばソムリエの会 会員 石田 一雄 氏	50	500	奈良まほろば館
	14:00~15:30	壬申の乱ゆかりの地をめぐる	2022年は、672年の壬申の乱から1350年という節目の年でした。 日本古代史上、最大の争乱といわれる壬申の乱は、天智天皇の弟・大海人皇子と息子・大友皇子による皇位継承の争いです。大海人皇子は、天智天皇の晩年に政権中枢を離れて吉野宮へ退きながらも、多くの支持を得て兵を集め、乱の勝者となりました。再び都を飛鳥に移し即位した天武天皇は、天皇を中心とした国づくりを進めていきました。 『日本書紀』第28巻には、壬申の乱の経緯が詳細に記されており「壬申紀」とも呼ばれます。以下この記述に沿って、ゆかりの地をめぐります。		50	500	
2月23日(木・祝)	14:00~15:30	お地蔵様の利益	お地蔵様は、お釈迦様が亡くなられてから、弥勒菩薩が出現されるまでの56億7千万年もの長い間、我々衆生を済度してくださる有難い仏様で、多くのご利益があります。 代表的な十種のご利益は、女人泰産、身根具足、衆病悉除、寿命長遠、聡明智慧、財宝盈溢、衆人愛敬、穀米成熟、神明加護、證大菩提で、「延命地藏経」に記されています。本講座では、これらを詳しく映像も交えてお話させていただきます。	常解寺 住職 倉本 堯慧 師	50	無料	
2月24日(金)	第1部 18:00~19:20 第2部 19:30~20:45	ホトケ女子と聞く、大安寺特別講演 第3回 第1部 『大安寺の365日』~ザリאל~ 第2部 笹酒の振る舞い&トーク	第1部では、元銀行員で大安寺・今は副住職を務める河野裕昭師に、大安寺での毎日について伺います。スペシャルゲストとして大安寺天平伽藍のCGを制作した須古星勝彦氏を迎え、ホトケ女子と共にざっくばらんなトークを繰り広げます。 第2部では「笹酒まつり」で使われる竹でできた器に奈良の地酒を注ぎ、ほろ酔い気分ですらに突っ込んだ話を伺います。	大安寺 副住職、「大安寺の365日」著者 河野 裕昭 師 スロビック 代表 須古星 勝彦 氏 合同会社 代表 / ホトケ女子 安達 えみ氏	第1部 50名(抽選) 第2部 20名(抽選)	第1部 1000円 ※1 第1・2部 3000円 ※2	大安寺 ※3

※1 ただし、書籍「大安寺の365日」購入者、クラウドファンディング支援者は無料 ※2 ただし、書籍「大安寺の365日」購入者、クラウドファンディング支援者は2,000円
※3 大安寺 河野 副住職 TEL0742-61-6312 u-syou@daianji.or.jp

申込み方法

●ホームページ 奈良まほろば館のホームページ (URL:https://nara-mahoroba.pref.nara.jp) にアクセスいただき、「Event」の各講座のページからお申込ください。
(問い合わせ先が奈良まほろば館である講座について) ※申込後にキャンセルされる場合は申し込み時に届いたメールに記載の URL よりお手続きください。

奈良まほろば館

〒105-0004 東京都港区新橋1-8-4 SMBC新橋ビル1階・2階

1F Shop/Cafe&Bar TEL:03-6263-9656 [OPEN]11:00~20:00

2F TOKI(Restaurant&Bar) TEL:03-6228-5665

[OPEN] ●Restaurant / 火曜~土曜12:00~15:30(L.O.13:00)、18:00~22:00

(L.O.19:30)、日曜12:00~15:30(L.O.13:30)

●Bar / 火曜~土曜12:00~15:00(L.O.13:30)、17:30~22:30(L.O.21:00)、

日曜12:00~18:00(L.O.17:00)

[CLOSED]月曜日 / 第2・第4日曜日

観光案内 TEL:03-5568-7081

[OPEN]平日(月曜~金曜)12:00~17:30 土日祝:12:00~18:00



奈良まほろば館

- アクセス方法
- JR新橋駅銀座口より徒歩約3分
- 東京メトロ銀座線新橋駅1番出口より徒歩約3分



奈良まほろば館
ホームページ用
2次元コード

